

令和8年度 新規採択

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

(区画整理)

要綱事業名

水利施設等保全高度化事業

(畑地帯総合整備型)

沖 縄 県

地 区 名 : 福嶺

所 在 地 : 宮古島市

事業主体 : 沖縄県

県営福嶺地区土地改良事業計画書

目 次

第1章	目的	-----	1
第2章	地域及び地積	-----	1
	第1節 地域	-----	1
	第2節 地積	-----	1
第3章	現況	-----	2
	第1節 気象及び海象	-----	2
	1. 一般気象	-----	2
	2. 特殊気象	-----	2
	3. 海象 【該当なし】	-----	3
	第2節 土地状況	-----	3
	1. 地形、土壌及び浸食の程度	-----	3
	2. 土地分類 【該当なし】	-----	5
	3. 土地利用の状況	-----	6
	4. 土地所有の状況	-----	7
	第3節 水利状況	-----	8
	1. 用水状況 【該当なし】	-----	8
	2. 排水状況	-----	11
	3. 河川状況 【該当なし】	-----	14
	第4節 道路現況	-----	15
	1. 道路概況	-----	15
	2. 主要道路一覧表	-----	15
	第5節 地域農業の概況	-----	15-1
	1. 産業別就業人口	-----	15-1
	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数-----		16
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	-----	17
	4. 主要作物作付状況	-----	18
	5. 農業の動向	-----	19
	第6節 地域環境の状況	-----	20
第4章	一般計画	-----	21
	第1節 事業計画の要旨	-----	21
	1. 要旨	-----	21
	2. 事業別面積	-----	21
	第2節 営農計画及び土地利用計画	-----	22
	1. 営農計画の概要	-----	22
	2. 土地利用区分	-----	22
	3. 作付方式	-----	23
	4. 生産計画	-----	24
	5. 労働改善計画	-----	25

第5章	主要工事計画	-----	47
	第1節 用水施設 【該当なし】	-----	47
	1. 貯水池 【該当なし】	-----	47
	2. 頭首工 【該当なし】	-----	47
	3. 揚水機 【該当なし】	-----	48
	4. 用水路 【該当なし】	-----	49
	5. その他かんがい施設 【該当なし】	-----	49
	第2節 排水水門 【該当なし】	-----	50
	1. 排水水門 【該当なし】	-----	50
	2. 排水機 【該当なし】	-----	50
	3. 排水路 【該当なし】	-----	51
	4. その他排水施設 【該当なし】	-----	51
	第3節 道路及び索道 【該当なし】	-----	52
	1. 道路 【該当なし】	-----	52
	2. 索道 【該当なし】	-----	53
	第4節 農用地造成 【該当なし】	-----	54
	1. 農用地造成 【該当なし】	-----	54
	2. 土壌改良 【該当なし】	-----	55
	第5節 洪水調整施設 【該当なし】	-----	56
	1. 貯水池 【該当なし】	-----	56
	2. 頭首工及び導水路 【該当なし】	-----	56
	第6節 干拓施設 【該当なし】	-----	57
	1. 堤防 【該当なし】	-----	57
	2. 潮止め 【該当なし】	-----	57
	3. 付属施設 【該当なし】	-----	57
	4. 埋立 【該当なし】	-----	57
	第7節 農用地整備施設	-----	58
	1. 区画整理	-----	58
	2. 暗渠排水 【該当なし】	-----	59
	3. 客土 【該当なし】	-----	60
	4. 除礫 【該当なし】	-----	60
	5. 農地保全 【該当なし】	-----	60
	第8節 老朽ため池改修施設 【該当なし】	-----	62
	1. 貯水池 【該当なし】	-----	62
	2. 堤体補強施設 【該当なし】	-----	62
第6章	附帯工事計画 【該当なし】	-----	63
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	-----	63
第8章	環境と調和への配慮	-----	64

6. 級地別土地利用区分 【該当なし】	-----	26
7. 土地配分計画 【該当なし】	-----	27
第3節 用水計画 【該当なし】	-----	28
1. 計画基準年 【該当なし】	-----	28
2. 計画かんがい方式 【該当なし】	-----	28
3. 計画用水系統 【該当なし】	-----	28
4. 計画用水量 【該当なし】	-----	29
5. 水源計画 【該当なし】	-----	30
第4節 排水計画	-----	33
1. 計画基準雨量	-----	33
2. 計画排水方式	-----	33
3. 計画排水系統	-----	33
4. 計画排水量	-----	33
5. 排水対策	-----	34
6. たん水検討 【該当なし】	-----	36
第5節 道路計画	-----	37
1. 道路及び索道	-----	37
2. 路線配置図	-----	38
第6節 農用地造成計画 【該当なし】	-----	39
1. 農用地造成計画【該当なし】	-----	39
2. 土壌改良 【該当なし】	-----	39
第7節 洪水調節計画 【該当なし】	-----	40
1. 計画基準雨量 【該当なし】	-----	40
2. 計画洪水量及び調節量 【該当なし】	-----	40
3. 貯水池 【該当なし】	-----	40
4. 洪水調節検討 【該当なし】	-----	41
5. 管理計画 【該当なし】	-----	41
第8節 干拓計画 【該当なし】	-----	42
第9節 農用地整備計画	-----	43
1. 区画整理	-----	43
2. 暗渠排水 【該当なし】	-----	44
3. 客土 【該当なし】	-----	45
4. 農地保全 【該当なし】	-----	45
第10節 老朽ため池改修計画 【該当なし】	-----	46
1. 洪水吐改修計画【該当なし】	-----	46
2. 堤体補強計画 【該当なし】	-----	46
3. 取水施設改修計画 【該当なし】	-----	46

第9章	換地計画の概要	65
	第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	65
	第2節 換地の設定 【該当なし】	65
	1. 換地区の名称、所在、面積 【該当なし】	65
	2. 換地区を設定する理由 【該当なし】	65
	第3節 換地計画樹立の基本方針	65
	1. 従前の土地の地積の基準	65
	2. 用途別予定地積	66
	3. 農用地集団化の方針	68
	4. 非農用地換地の方法 【該当なし】	68
	第4節 土地の評価及び精算の方法	68
	1. 評価の方法	68
	2. 清算の方法	68
	第5節 換地計画書樹立の年度計画	68
	第6節 換地処分の特則に関する特則	68
第10章	事業費の総額及び内訳	69
第11章	効用	70
第12章	関連する事業	71
第13章	現況・計画平面図	71
	1. 現況平面図	71
	2. 計画平面図及び土地利用計画図	71
	3. 主要構造図	71

第1章 目 的

本地区は宮古島市東部に位置し、基幹作物であるさとうきびを主体とした営農を行っている。

基幹かんがい施設は、既に国営かんがい排水事業により整備が完了しており、本地区入口まで農業用水路（パイプライン）が整備されている。

本地区の農地は区画が不整形で通作道が少ないため、農業機械の稼働率が悪く、多大な営農労力を必要としている。これらの課題を解決するため、区画整理を行うことで機械化の農業の推進を図るとともに、担い手農家への集積を促進し、将来的な農業経営の安定に資する整備を総合的に実施する。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
区画整理	沖縄県宮古島市城辺

第2節 地 積

(2025年 4月現在)

(第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	原 野	山 林	その他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	宮古島市	-	26.1	0.6	0.0	0.7	27.3	
合 計		-	26.1	0.6	0.0	0.7	27.3	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表－1)

観測所名	宮古島地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	昭和49年～平成28年	1月～12月(通年)	月～月		
平均気温(℃)		23.6℃	－℃	23.6℃	
降水量	平均(mm)	1,984mm	－mm	1,984mm	
	基準年(mm)	1,771mm	－mm	1,771mm	昭和59年
降水日数	平均(日)	75日	－日	75日	
	基準年(日)	90日	－日	90日	昭和59年
根雪期間	－				
無霜期間	－				
最多風向	NNE	最大風速 (風向)	38.4 m/s (N)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日	12月～4月 平成15年9月11日

2. 特殊気象

(2－1)

(第3表－2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
宮古島地方気象台									
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
昭和12年～平成28年									
最大日雨量 (mm)	322	S60.8.16	1/36	285 284	H15.9.11 S63.4.28	1/19	263	H14.9.6	1/14
最大時間雨量 (mm)	138	S45.4.19	1/338	106	S13.4.20	1/35	100	S30.10.18	1/24
最大4時間雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－
最大連続雨量 (mm)	527	H3.9.15 ～9.30	1/32	512	S60.8.14 ～8.19	1/27	493	S63.4.27 ～5.2	1/22
最大連続干天日数(日)	58	S63.11.11 ～H1.1.7	1/58	55	H10.6.26 ～8.19	1/40	45	H18.8.17 ～9.30	1/12

(2－2)

(第3表－2)

観測所名	第 4 位			第 5 位			備 考
宮古島地方気象台							
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
昭和12年～平成28年							
最大日雨量 (mm)	251	S61.11.1	1/11	248	S54.6.15	1/10	
最大時間雨量 (mm)	96	H8.5.31	1/17	94	H28.4.13	1/15	
最大4時間雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	
最大連続雨量 (mm)	478	H15.9.7 ～9.12	1/18	389	H8.5.30 ～6.2	1/7	
最大連続干天日数(日)	42	H6.10.12 ～11.22 H16.6.11 ～7.22	1/8	41	S52.4.11 ～5.21	1/7	

3. 海 象

該当なし

(第3表－3)

観測所名	観測期間	既住最高 測 位 (m)	さく望平 均満潮位 (m)	上下弦平 均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平 均干潮位 (m)	さく望平 均干潮位 (m)	既住最低 潮 位 (m)	備 考
実 測 値	年～ 年	()						()	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(2－1)

(第4表－1－1)

事業名	地 目	田						計
	傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上		
区画整理	面積 (ha)	-	-	-	-	-	-	-
	比率 (ha)	-	-	-	-	-	-	-
合計	面積 (ha)	-	-	-	-	-	-	-
	比率 (ha)	-	-	-	-	-	-	-

(2－2)

(第4表－1－1)

事業名	地 目	畑・その他						受益地標高		備考
	傾斜区分	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最 高 (m)	最 低 (m)	
区画整理	面積 (ha)	14.8	12.6	0.0	0.0	0.0	27.3	55.6	40.1	
	比率 (ha)	54.0%	46.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
合計	面積 (ha)	14.8	12.6	0.0	0.0	0.0	27.3			
	比率 (ha)	54.0%	46.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			

(第4表-1-2)

項目 土壤統 (区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)			備 考		
	土 壤 断 面							推 積 様 式	母 材	事 業 名				
	色	腐 植 層	礫 層	酸化沈 澱物	土 性					泥炭層 黒泥層 及 び グライ層	区 画 整 理		計	
					表土 一層	下層土 二層	三層							
摩文仁統	暗赤色	なし	あり	なし	HC	HC	－	なし	残積	琉球石 灰岩	27.3		27.3	
													0.0	
													0.0	
													0.0	
													0.0	
計											27.3		27.3	

(2-1)

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度			
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上
	面積(ha)								
	比率(%)								

(2-2)

(第4表-1-3)

事業名	区分	ガリ浸食の程度		備考
		中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)			
	比率(%)			

2. 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農用地造成										計	備考
		一級地	二級地				三級地				四級地		
			※	3° ～ 8° (ha)	8° ～ 12° (ha)	12° ～ 15° (ha)	※	15° ～ 20° (ha)	20° ～ 25° (ha)	25° ～ 30° (ha)	※ 30° 以上 (ha)		
													※は傾斜以外の要因によるもの
計													

(第4表-2-2)

市町村名	級地名	干 拓				備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

(2025年 4月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理	宮古島市	-	26.1	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.7	27.3	
	計	-	26.1	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.7	27.3	
合 計		-	26.1	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.7	27.3	

4. 土地所有の状況

(2025 年 4 月現在)

(第4表－4)

事業名	所有別 区 分	個人有	企業有	字有	市有	県有	計	備 考
区 画 整 理	面積 (ha)	26.7	0.0	0.0	0.6	0.0	27.3	
	受益者数 (人)	37	0	－	－	－	37	
	筆数 (筆)	106	0	0	5	0	111	
	権利関係	所有・使用賃借権	－	－	機能交換	－		
	備考(関係戸数)	41	－	－	－	－	41	
合 計	面積 (ha)	26.7	0.0	0.0	0.6	0.0	27.3	
	受益者数 (人)	37	0	－	－	－	37	
	筆数 (筆)	106	0	0	5	0	111	
	権利関係	所有・使用賃借権	－	－	機能交換	－		
	備考(関係戸数)	41	－	－	－	－	41	

第3節 水利状況

1. 用水状況 該当無し

(1) 用水系統

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(2-1)

(第5表－1)

事業名	項目	か　　ん　　が　　い　　面　　積						計	
		ha以上		～　　ha		ha未満			
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha
	貯水池								
	井堰								
	自然取水口								
	揚水機								
	用水路								
	その他								
	計								
	計								
合　　計									

(2-2)

(第5表－1)

事業名	項目	水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
		箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
	貯水池	－	－	－	－	－	
	井堰						
	自然取水口						
	揚水機						
	用水路						
	その他						
	計						
	計						
合 計							

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名							
	貯水池							
	井堰							
	自然取水口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
	計							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(2-1)

(第5表-3-1)

事業名	項 目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現 況 必要水量 (千m ³)	不 足 水 量			
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量	
				平 均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平 均 (千m ³)	基準年 (千m ³)
	計						
	計						
合 計							

(2-2)

(第5表-3-1)

事業名	項 目 系統名	平均減産量		備 考
		(t)		
		作物名	減産量 (t)	
	計			
	計			
合 計				

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面 積 (ha)	水温 (℃)		水質	被害量 (t)	備 考
			最 高	最 低			

(2-1)

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)		
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設
	計						
	計						
合 計							

(2-2)

(第5表-3-3)

事業名	想定被害額（百万円）			備 考
	公 共 施 設	家 屋 その他	計	
合 計				

2. 排水状況

(1) 排水系統 {別紙 現況排水流域図}

(2) 排水施設 該当なし

(ア) 排水方法一覧表

(2-1)

(第5表-4)

事業名	項 目 施設名		排 水 面 積					
			ha以上		～		ha未満	
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha
	自然	排 水 路						
		水 門						
	機 械	排 水 機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
	計							
合 計								

(2-2)

(第5表-4)

事業名	項 目 施設名		計		排水慣行	現況排水能力	備 考
			箇所	ha	(m ³ /s)	(m ³ /s)	
	自然	排 水 路					
		水 門					
	機 械	排 水 機					
		水門及び排水機					
		排水路及び排水機					
	計						
	計						
合 計							

(イ) 改修を要する施設一覧表

(2-1)

(第5表-5)

事業名	項 目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模
	施設名					
	自然	排 水 路				
		水 門				
	機 械	排 水 機				
		水門及び排水機				
		排水路及び排水機				
	計					
	計					
合 計						

(2-2)

(第5表-5)

事業名	項 目		新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名				
	自然	排 水 路			
		水 門			
	機 械	排 水 機			
		水門及び排水機			
		排水路及び排水機			
	計				
	計				
合 計					

(3) 排水に関する被害状況

(2-1)

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛 水 状 況				乾湿状況(ha)	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田	
								乾	湿
			平均						
			基準年						
	計		平均						
			基準年						
合計			平均						
			基準年						

(2-2)

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	乾湿状況(ha)				平 均 減産量		備 考
		畑		その他		作物名	減産物 (t)	
		乾	湿	乾	湿			
	計							
合計								

3. 河川状況 該当なし

(1) 河川状況

(2-1)

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)

(2-2)

(第5表-7)

項目 河川名	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道 路 概 況

1. 道路概況 {別紙 現況道路模式図 参照 }

2. 主要道路一覧表

(2-1)

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅 員 (m)	
				全幅	有効
1	県道199号線	沖縄県	601	9.0	6.0
2	市城辺6号線	宮古島市	937.2	6.0	6.0
3	市城辺7号線	宮古島市	276.6	9.0	6.0
4	市城辺155号線	宮古島市	729.2	3.0	3.0
5	市城辺171号線	宮古島市	498.8	3.0	3.0
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					

(2-2)

(第6表)

No	構 造	改 修 の 要 否	備 考
1	アスファルト	既設利用	施工区域外
2	アスファルト	既設利用	施工区域外
3	アスファルト	既設利用	施工区域外
4	砂利舗装	改修	施工区域内
5	アスファルト	既設利用	施工区域外
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(3-1)

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業・ 林業 (人)	漁業 (人)	鉱業・砕 石業・砂 利採取業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気・ガス ・熱供給 ・水道業 (人)	情報 通信業 (人)
宮古島市	28,047	4,206	225	16	2,970	1,156	101	247
計	28,047	4,206	225	16	2,970	1,156	101	247
比率(%)	100%	15.0%	0.8%	0.1%	10.6%	4.1%	0.4%	0.9%

(3-2)

(第7表-1)

項目 市町村名	運輸業・ 郵便業 (人)	卸売業・ 小売業 (人)	金融業・ 保険業 (人)	不動産 業・物品 賃貸業 (人)	学術研 究・専門 技術サー ビス業 (人)	宿泊業・ 飲食サー ビス業 (人)	生活関連 サービス業・ 娯楽業 (人)	教育 学習 支援業 (人)
宮古島市	1,055	3,057	266	465	662	2,899	1,041	1,382
計	1,055	3,057	266	465	662	2,899	1,041	1,382
比率(%)	3.8%	10.9%	0.9%	1.7%	2.4%	10.3%	3.7%	4.9%

(3-3)

(第7表-1)

項目 市町村名	医療・ 福祉 (人)	複合 サービ ス業 (人)	サービス業 (他に分類 されない もの) (人)	公務 (他に分類 されるもの を除く) (人)	分類 不能 の産業 (人)	備 考
宮古島市	4,098	309	1,387	2,505	0	令和2年 国勢調査
計	4,098	309	1,387	2,505	0	
比率(%)	14.6%	1.1%	4.9%	8.9%	0.0%	

2. 経営耕地広狭別経営体数及び耕地の分散状況並びに主副業別経営体数

(3-1)

(第7表-2)

区分 市町村名	総農業 経営体 数	経営耕地広狭別経営体数							
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0
宮古島市	3,617	23	219	779	802	552	651	392	147
計	3,617	23	219	779	802	552	651	392	147
比率(%)	100%	0.6%	6.1%	21.5%	22.2%	15.3%	18.0%	10.8%	4.1%

(3-2)

(第7表-2)

区分 市町村名	経営耕地広狭別経営体数			1経営体当たり平均 農用地面積(ha)					
	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計
宮古島市	12	4	36	-	1.6	0.6	2.3	1.5	3.8
計	12	4	36	-	1.6	0.6	2.3	1.5	3.8
比率(%)	0.3%	4	1.0%	-	48%	17%	60%	40%	100%

(3-3)

(第7表-2)

区分 市町村名	耕地の 分散状況		主副業別 経営体数			備考
	一経営体 当たり 団地数	団地当 たり面 積(ha)	主業	準主業	副業的	
宮古島市	-	-	862	504	2,117	
計	-	-	862	504	2,117	
比率(%)	-	-	25%	14%	61%	

(2020年農林業センサス)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(3-1)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具							
	乗用型トラクター		歩行用トラクター		ハーベスター		動力噴霧機	
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)
宮古島市	1,236	-	1,464	-	98	-	1,137	-
計	1,236	-	1,464	-	98	-	1,137	-
100戸当たり 数量(台、頭)	26		31		2		24	
利用戸数 割合(%)								

(宮古の農林水産業(H28.12))

(3-2)

(第7表-3)

項目 市町村名	主要家畜							
	肉用牛		豚		採卵鶏		山羊	
	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)
宮古島市	9,307	536	671	11	31,308	4	948	104
計	9,307	536	671	11	31,308	4	948	104
100戸当たり 数量(台、頭)	1,736		6,100		782,700		912	
利用戸数 割合(%)								

(3-3)

(第7表-3)

項目 市町村名	備考
宮古島市	
計	
100戸当たり 数量(台、頭)	
利用戸数 割合(%)	

(宮古の農林水産業(令和6年度版))

4. 主要作物付状況

(2-1)

(第7表-4)

市町村名			宮古島市				計	平均
総耕地面積(ha)			10,600					
総本地面積(ha)								
区 分			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)
作 物 名								
田	表 作	-	-	-			-	-
	裏 作	-	-	-			-	-
	小 計		-				-	
畑	基幹	サトウキビ	5,478	5,304			5,478	5,304
	葉たばこ	葉たばこ	263	160			263	160
	野菜	野菜類	361	1,608			361	1,608
	果樹	果樹	79	1,071			79	1,071
	小 計							
樹園地								
	小 計							
計								
市町村別延べ作付率(%)								

(2-2)

(第7表-4)

市町村名			作 付 率 (%)	備 考
総耕地面積(ha)				
総本地面積(ha)				
区 分				
作 物 名				
田	表 作	-	-	
	裏 作	-	-	
	小 計		-	
畑	基幹	サトウキビ	-	
	葉たばこ	葉たばこ	-	
	野菜	野菜類	-	
	果樹	果樹	-	
	小 計		-	
樹園地				
	小 計			
計				
市町村別延べ作付率(%)				

(宮古の農林水産業(令和6年度版))

(野菜作付面積のみH26年調査面積)

5. 農業の動向

(2-1)

(第7表-5)

区 分 \ 項 目	農 家			土 地			主 要 作 物		
		B	A		B	A	作物名	B	A
変化の状況 (C年を100 とする指数)	総農家数	107	79	耕 地	105	86	さとうきび	118	126
	専業農家	109	37	田	-	-	飼料作物	120	89
	第一種兼業 農 家 数	62	79	畑	105	86	葉たばこ	91	70
	第二種兼業 農 家 数	151	176	樹園地	71	98	かぼちゃ	-	-
	農 業 従事者数	96	114				マンゴー	106	106
変化の理由									

(2-2)

(第7表-5)

区 分 \ 項 目	大 家 畜			動力農機具			地域指定等	備 考
	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100 とする指数)	肉用牛	77	77	トラクター (24PS未満)	-	-	過疎地域	A: 令和2年 (2020年農林業センサス) B: 平成27年 (2015年世界農林業センサス) C: 平成22年 (2010年農林業センサス) 〔主要作物・動力農機具〕 宮古の農林水産業 (平成27年産・22年 産・17年産)
				トラクター (24PS以上)	60	-		
				さとうきび 刈取機	96	-		
変化の理由								

(2010-2020農林業センサス)

第6節 地域環境の状況

(1) 福嶺地区の環境概要

福嶺地区は、平坦な地形のため耕地率が高い反面、森林率が約14.6%と低い。また、土壌は透水性が高く保水性に乏しい特徴を持ち農地からの赤土流出など自然環境面及び生産環境面の課題を有している。

このため緑地・緑波率を高めるための対策や赤土流出防止対策による生態系や景観への配慮が課題である。

(2) 宮古島市の環境概要

(第7表-6)

環境要素		項目	特記事項・概略説明		
植 物		貴重種	群 落	0 種	該当なし
自然環境	動 物	哺乳類	貴重種	0 種	該当なし
		鳥類	貴重種	最大47 種	カラスバト、キンバト、イイジマムシクイ、アカヒゲなど
		爬虫類	貴重種	最大6 種	キノウエトカゲ、ミヤコカナヘビ、ミヤコトカゲ、サキシマオオヘビなど
		両生類	貴重種	最大3 種	ミヤコヒキガエル、ヒメアマガエル、サキシマヌマガエル
		昆虫類	貴重種	最大9 種	ツマグロセミ、コガタノゲンコウ、ミヤコマトボタル等
		甲殻類	貴重種	最大2 種	オカヤドカリ類、ミヤコサワガニ
		淡水魚類	貴重種	1 種	
社会環境	自然環境保全に関する規制	自然公園地域		該 当	有 り
		自然環境保全地域		該当なし	
		鳥獣特別保護地区		該当なし	
		風致地区		該当なし	
	法的文化財保護に関する指定	史跡	・国指定	0 件	・県指定 0 件 ・市町村指定 1 件
		名勝	国指定		該当なし
			県指定		該当なし
			市町村指定		該当なし
		天然記念物	国指定		6件 オカヤドカリ類、カラスバト、キンバト、キノウエトカゲ、イイジマムシクイ、アカヒゲ
			県指定		2件 ミヤコサワガニ、ミヤコカナヘビ
			市町村指定		1件 ツマグロセミ
		埋蔵文化財包蔵地		該当なし	
	土地利用に関する規制	農業振興地域		26.7 ha	
		農用地区域		26.7 ha	
		森林地域		0 ha	
		地域森林計画対象民有林		0 ha	
		保安林		0 ha	
	水利用状況	河川区域(二級河川)		該当なし	
		河川区域(準用河川)		該当なし	
		湧水・井戸		該当なし	

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区は宮古島市城辺東部に位置し、基幹作物であるさとうきびを主体とした営農を行っている。

基幹かんがい施設は、既に国営かんがい排水事業により整備が完了しており、本地区入口まで農業用水路（パイプライン）が整備されている。

本地区の農地は区画が不整形で通作道が少ないため、農業機械の稼働率が悪く、多大な営農労力を必要としている。これらの課題を解決するため、区画整理を行うことで機械化の農業の推進を図るとともに、担い手農家への集積を促進し、将来的な農業経営の安定に資する整備を総合的に実施する。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的						
	水 田	普 通 畑	牧 草 畑	果 樹 園		小 計
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)
区画整理	-	23.7	-	-		23.7
計	-	23.7	-	-		23.7

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の計画作物は、施設整備後、農業用水の安定供給が可能となり、単収の増、高収益性作物への転換が見込まれることから、基幹作物のサトウキビを中心に、施設作物、露地野菜、牧草を作付けする営農計画とする。

2. 土地利用区分

(2-1)

(第9表－1)

事業名	土地利用区分		田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	小計
	区分		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
区画整理	現況		－	26.1	－	－	－	26.1
	計画		－	23.7	－	－	－	23.7
計	現況		－	26.1	－	－	－	26.1
	計画		－	23.7	－	－	－	23.7

(2-2)

(第9表－1)

事業名	土地利用区分		原野	山林	その他	計	備考
	区分		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現況		0.6	－	0.7	27.3	
	計画		－	－	3.6	27.3	
計	現況		0.6	－	0.7	27.3	
	計画		－	－	3.6	27.3	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	【1段表記】毎年、【多段表記】<1段目>1年目／<2段目>2年目／(<3段目>3年目)												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
区画整理	現況	サトウキビ	普通畑								△	△			◎	
		飼料作物	普通畑				◎					◎		◎		
		マンゴー	施設畑						◎		◎					
	計画	さとうきび(夏植)	普通畑								△	△			◎	
		さとうきび(春植)	普通畑		△	△										
		さとうきび(株出)	普通畑													
		葉たばこ	普通畑	△			◎		◎							
		飼料作物	普通畑				◎					◎		◎		
		カボチャ(1期)	普通畑	◎									△		◎	
		カボチャ(2期)	普通畑	△			◎	◎								
		かんしょ	普通畑		◎	◎					△	△				
		にがうり	普通畑	◎					◎				△	△	◎	
		とうがん	普通畑						◎				△	△		
		さやいんげん	普通畑	◎		◎		◎					○	○	◎	
		ちんげんさい	施設畑							△	◎△	◎				
		マンゴー	施設畑						◎		◎					

○ — ○ : 播種 △ — △ : 移植(定植) ◎ — ◎ : 収穫

4. 生産計画

(2-1)

(第9表－3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積			作付率		単位面積当たり		
				(ha)			(%)		収量(kg/10a)		
	現況	計画		増減	現況	計画	現況	計画	増減		
区画整理	普通畑	(夏植)	さとうきび	23.9	12.6	-11.3	91.6	50.2	5,584	8,376	2,792
		(春植)	さとうきび	1.1	0.5	-0.6	4.2	2.0	3,560	5,340	1,780
		(株出)	さとうきび	0.4	3.5	3.1	1.5	13.9	3,891	5,837	1,946
			飼料作物	0.7	2.4	1.7	2.7	9.6	9,441	11,329	1,888
			葉たばこ	0.0	1.6	1.6	0.0	6.4	216	233	17
		(Ⅰ期・Ⅱ期)	かぼちゃ	0.0	2.4	2.4	0.0	9.6	546	623	77
			かんしょ	0.0	0.3	0.3	0.0	1.2	1,199	1,379	180
	施設畑		にがうり	0.0	0.6	0.6	0.0	2.4	-	6,074	-
			とうがん	0.0	0.3	0.3	0.0	1.2	-	12,337	-
		表作	さやいんげん	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	-	1,930	-
		裏作	ちんげんさい	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	-	1,317	-
			マンゴー	0.0	0.7	0.7	0.0	2.8	-	1,222	-
	計			26.1	25.1	-1.0	100.0	99.6			
	合 計			26.1	25.1	-1.0	100.0	99.6			

(2-2)

(第9表－3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	生 産 量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加	
区画整理	普通畑	(夏植)	さとうきび	667	528	-140	-315	176	作付率 50%
		(春植)	さとうきび	39	27	-12	-21	9	
		(株出)	さとうきび	16	204	189	181	68	
			飼料作物	66	272	206	160	45	
			葉たばこ	0	4	4	3	0	
		(Ⅰ期・Ⅱ期)	かぼちゃ	0	15	15	15	0	
			かんしょ	0	4	4	4	-	
	施設畑		にがうり	0	30	30	30	-	建坪率 80%
			とうがん	0	25	25	25	-	〃
		表作	さやいんげん	0	2	2	2	-	〃
		裏作	ちんげんさい	0	1	1	1	-	〃
			マンゴー	0	7	7	7	-	〃
	計								
合 計									

5. 労働改善計画

(区画整理にかかる省力化)

(第9表－4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区画整理	普通畑	さとうきび (夏植)	6.3	人 力	161.6	4.0	△ 157.6	作付率 50%
				機械力	21.2	6.2	△ 15.0	
		さとうきび (春植)	0.5	人 力	133.3	3.7	△ 129.6	
				機械力	15.1	4.7	△ 10.4	
		さとうきび (株出)	3.5	人 力	133.9	3.3	△ 130.6	
				機械力	6.6	3.9	△ 2.7	
		葉たばこ	1.6	人 力	58.7	21.9	△ 36.8	
				機械力	39.4	18.9	△ 20.5	
		飼料作物	2.4	人 力	0.1	0.1	0.0	
				機械力	5.0	4.5	△ 0.5	
		かぼちゃ (Ⅰ期)	2.4	人 力	110.9	81.4	△ 29.5	
				機械力	22.6	7.4	△ 15.2	
		かぼちゃ (Ⅱ期)	2.4	人 力	133.0	93.6	△ 39.4	
				機械力	29.5	4.2	△ 25.3	
		かんしょ	0.3	人 力	137.0	114.2	△ 22.8	
				機械力	9.5	5.7	△ 3.8	
計			19.4					
合 計			19.4					

6. 級地別土地利用区分 該当なし

(2-1)

(第9表-5)

土地 利用区分	級地名	農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)		
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地
農 地	田								
	輪換耕地								
	畑								
	(普通畑)								
	(牧草畑)								
	樹園地								
	(果樹園)								
	(桑園)								
そ の 他									
計									

(2-2)

(第9表-5)

土地 利用区分	級地名	干 拓 (ha)		合 計
		四級地	計	
農 地	田			
	輪換耕地			
	畑			
	(普通畑)			
	(牧草畑)			
	樹園地			
	(果樹園)			
	(桑園)			
そ の 他				
計				

7. 土地配分計画

該当なし

(2-1)

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)				
		田	輪換耕地	畑		
				普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地
増 反		()	()	()	()	()
入 植		()	()	()	()	()

(2-2)

(第9表-6)

項目 区分				備 考
			計	
増 反	()	()	()	
入 植	()	()	()	

第3節 用水計画 該当なし

1. 計画基準年

該当なし

2. 計画かんがい方式

該当なし

3. 計画用水系統

該当なし

4. 計画用水量 該当なし

(1) かんがい用水

(2-1)

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用		
		事業名								
		農業 用排水 施設		計	普通畑	代かき期	面 積 (ha)	一 日 当 た り 計 画 平 均 かん 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)
					単 位 用 水 量 計 画 平 均 (mm/日)	単 位 用 水 量 計 画 代 か き (mm/日)				
計										

(2-2)

(第10表-1-1)

項目 系統名	畑地かんがい			その他		消費 水 量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備考
	平均かん水深 一日当たり計画 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	単位 用水量 計画 平均 (mm/日)	面 積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)	
計										

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名			単 位 給水量 (リットル/日)	最 大 給水量 (リットル/日)			
				計					

5. 水源計画 該当なし

(1) 水利用計画

(2-1)

(第10表-2)

項 目 区 分	消費水量 a (千m ³)	有効雨量 b (千m ³)	純用水量 c = a - b (千m ³)	粗用水量 d = $\frac{c}{(1-a)}$ (千m ³)	現況利用可能水量		
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可 能 量
					(千m ³)	e (千m ³)	f (千m ³)
	計						

(2-2)

(第10表-2)

項 目 区 分	不足水量		水源依存量		水源 工種	備 考
	純不足 水 量	全不足 水 量	水源名	水 量		
	g = c - f (千m ³)	h = d - e (千m ³)		(千m ³)		
						損失率: α
	計					

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(2-1)

(第10表-3)

項 目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)
			事業名			
	直接	間接			計	

(2-2)

(第10表-3)

項 目 貯水池名	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考

(イ) 井堰及び自然取入口

(2-1)

(第10表-4)

項 目 取水 施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)		
			事業名		
					計
計					

(2-2)

(第10表-4)

項 目 貯水池名	取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
	最大	平均		
計				

(ウ) 揚水機

(2-1)

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m ³ /s)	
		事業名			最大	平均
				計		

(2-2)

(第10表-5)

項目 名称	揚水機				備考
	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	

(エ) 用水路

(2-1)

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)
	事業名				
			計		
計					

(2-2)

(第10表-6)

項目 名称	構造	備考
計		

(オ) その他の水源施設

(3) 水温水質

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

1/10年確率時間雨量 154 mm/ha

2. 計画排水方式

自然排水方式

3. 計画排水系統

{別紙 計画排水系統図}

4. 計画排水量

(2-1)

(第11表-1)

項 目 排水施設名	受 益 面 積 (ha)			流域面積		基 準 雨 量 (mm)	降 雨 に よ る 直接単位流出量	
	事業名			(km ²)			(m ³ /s/km ²)	
	区画整理		計	山地	平地		山地	平地
福嶺	23.7		23.7		0.27	154		11.12
計	23.7		23.7		0.270	-	-	-

(2-2)

(第11表-1)

項 目 排水施設名	基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量(m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
			山地	平 地		山地	平地	
	山地	平地		自然排水	機械排水			
福嶺				3			11.12	
計	-	-		3			11.12	

5. 排水対策 該当無し

(1) 排水水門

(2-1)

(第11表-2)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量	
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2)

(第11表-2)

項 目 名 称	排水本川			備 考
	名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
計				

(2) 排水機

(2-1)

(第11表-3)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量	
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)
				計		
計						

(2-2)

(第11表-3)

項 目 名 称	排水機				備 考
	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
計					

(2-1)

(第11表-4)

十

(4) その他

6. たん水検討 該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効)×延長 (m) (m)		構 造	既設道路との関係	備 考
5号水兼農道	4.5	114.5	アスコンt=4cm	県道199線に接続	
6号水兼農道	4.5	226.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
7号水兼農道	4.5	133.0	アスコンt=4cm	県道199線に接続	
8号水兼農道	4.5	186.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
9号水兼農道	4.5	191.0	アスコンt=4cm	県道199線に接続	
10号水兼農道	4.5	192.5	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
11号水兼農道	4.5	224.5	アスコンt=4cm	—	
12号水兼農道	4.5	174.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
13号水兼農道	4.5	211.0	アスコンt=4cm	市道城辺155号線に接続	
14号水兼農道	4.5	156.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
16号水兼農道	4.5	123.5	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
17号水兼農道	4.5	138.5	アスコンt=4cm	市道城辺155号線に接続	
18号水兼農道	4.5	133.5	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
19号水兼農道	4.5	120.0	アスコンt=4cm	市道城辺155号線に接続	
20号水兼農道	4.5	130.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
21号水兼農道	4.5	69.0	アスコンt=4cm	市道城辺7号線に接続	
22号水兼農道	4.5	136.5	アスコンt=4cm	—	
23号水兼農道	4.5	121.5	アスコンt=4cm	—	
24号水兼農道	4.5	97.0	アスコンt=4cm	—	
25号水兼農道	4.5	111.5	アスコンt=4cm	—	
27号水兼農道	4.5	108.5	アスコンt=4cm	—	
28号水兼農道	4.5	99.5	アスコンt=4cm	—	
29号水兼農道	4.5	100.0	アスコンt=4cm	市道城辺155号線に接続	
36号水兼農道	4.5	44.7	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
37号水兼農道	4.5	88.0	アスコンt=4cm	—	
1号農道	5.0	48.0	流しコーラルt=15cm	—	
30号農道	3.0	93.0	流しコーラルt=15cm	県道199線に接続	
31号農道	3.0	102.0	流しコーラルt=15cm	—	
32号農道	3.0	107.0	流しコーラルt=15cm	—	
33号農道	3.0	100.5	流しコーラルt=15cm	—	
34号農道	3.0	116.5	流しコーラルt=15cm	市道城辺155号線に接続	
1号耕作道	3.0	45.0	流しコーラルt=15cm	—	
2号耕作道	3.0	57.0	流しコーラルt=15cm	—	
3号耕作道	3.0	41.5	流しコーラルt=15cm	—	
合計	4,140.7				

(2) 索道

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考

2. 路線配置図 {別紙 道路計画平面図 参照 }

第6節 農用地造成計画 該当なし

1. 農用地造成計画 該当なし

(1) 農用地造成計画

(第13表－1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良 該当なし

(2-1)

(第13表－2)

項目 土地利用区分	面 積 (ha)	土 壌 統 (区) 名	pH		置換酸度 (Y ₁)
			H ₂ O	KCl	

(2-2)

(第13表－2)

項目 土地利用区分	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
		石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画 該当なし

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

(2-1)

(第14表-1)

地点	流域面積 (km^2)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m^3/s)	安全洪水量 (m^3/s)	必要調節量 (m^3/s)	ピーク時調節量 (m^3/s)

(2-2)

(第14表-1)

地点	ピーク時調節後流量 (m^3/s)	調節後最大流量 (m^3/s)	調節前後の最大流量の差 (m^3/s)	備考 (m^3/s)

3. 貯水池 該当なし

(2-1)

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km^2)		計画洪水量 (m^3/s)	貯水量 (千 m^3)		
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的

(2-2)

(第14表-2)

項目 貯水池名	計画調節流量 (m^3/s)	可能調節流量 (m^3/s)	備考

4. 洪水調節検討 該当なし

(1) 河川改修計画との関係

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管理計画 該当なし

(1) 管理機構

(2) ダム管理操作上の各種基準

(3) 洪水調節要領

項目 名称	延 長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び 対岸距離(km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表－1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
200 × 100	23.7	27.3	86.7	－	
計		27.3			

(2) 表土扱い

(第16表－2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
23.7	表土は農家が長い年月をかけて培ったものであり、収量や営農作業に大きな影響を及ぼすものであるため。	60	142,200	

(3) 末端道水路配置図 {別紙 道路計画平面図 及び 計画排水系統図 参照 }

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(2-1)

(第16表-3-1)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{\text{リットル}}{\text{秒}}/\text{ha}$)
	事 業 名					
			計			
計						

(2-2)

(第16表-3-1)

項目 区分	計画後の地下 水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
計			

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	土壌硬度	備 考
	事 業 名					
			計			
計						

3. 客 土 該当なし

(2-1)

(第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)分	減水深(mm/日)	
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均
			計			
計						

(2-2)

(第16表-4)

項目 区分	作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m ³)	土 壌 の 性 質		備 考
	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (m3/s/ha)	採土地(客土 材料 (%)	
計						

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m/s)	

(3) 浸食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

1. 洪水吐改修計画 該当なし

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 該当なし

1. 貯水池 該当なし

(2-1) (第17表-1)

名 称			
堤 体	形 式	流域面積(km ²)	
		直接	間接
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	

(2-2) (第17表-1)

位 置						
堤高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m ³)	基盤地盤 地 質	貯水量(千m ³)		備 考
				総貯水量	有効貯水量	
取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)	

2. 頭首工 該当なし

(2-1) (第17表-2)

名 称				位 置	
形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)		計	取水位 (m)
		固定部	可動部		

(2-2) (第17表-2)

名 称			備 考
形 式	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	

3. 揚水機

該当なし

(2-1)

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程 (m)		形式
			全揚程	実揚程	

(2-2)

(第17表-3)

項目 名称	揚水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ()	台数 (台)	

第2節 排水水門

該当なし

1. 排水水門

該当なし

(2-1)

(第18表-1)

項目 名称	位 置	形 式	構 造	内水位 (m)	外水位 (m)
計					

(2-2)

(第18表-1)

項目 名称	排水路 (m ³ /s)	備 考
計		

2. 排水機

該当なし

(2-1)

(第18表-2)

項目 名称	位 置	排 水 量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機
			全揚程	実揚程	形式

(2-2)

(第18表-2)

項目 名称	排水機		原動機			備考
	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 ()	台数 (台)	

3. 排水路 該当なし

(2-1)

(第18表－3)

項目 水路名	受益面積(ha)		排水量 (m ³ /s)	延長(m)			構造
	事業名			開きよ	トンネル その他	計	
	区画整理	計					
小計							

(2-2)

(第18表－3)

項目 水路名	勾配	主要構造物	備考
計			

4. その他排水施設 該当なし

第5節 道路計画

第3節 道路及び索道

(1) 道路の総括表

(第19表－1)

項 目 路線名	幅 (有効)×延長 (m) (m)		構 造	既設道路との関係	備 考
5号水兼農道	4.5	114.5	アスコンt=4cm	県道199線に接続	
6号水兼農道	4.5	226.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
7号水兼農道	4.5	133.0	アスコンt=4cm	県道199線に接続	
8号水兼農道	4.5	186.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
9号水兼農道	4.5	191.0	アスコンt=4cm	県道199線に接続	
10号水兼農道	4.5	192.5	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
11号水兼農道	4.5	224.5	アスコンt=4cm	—	
12号水兼農道	4.5	174.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
13号水兼農道	4.5	211.0	アスコンt=4cm	市道城辺155号線に接続	
14号水兼農道	4.5	156.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
16号水兼農道	4.5	123.5	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
17号水兼農道	4.5	138.5	アスコンt=4cm	市道城辺155号線に接続	
18号水兼農道	4.5	133.5	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
19号水兼農道	4.5	120.0	アスコンt=4cm	市道城辺155号線に接続	
20号水兼農道	4.5	130.0	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
21号水兼農道	4.5	69.0	アスコンt=4cm	市道城辺7号線に接続	
22号水兼農道	4.5	136.5	アスコンt=4cm	—	
23号水兼農道	4.5	121.5	アスコンt=4cm	—	
24号水兼農道	4.5	97.0	アスコンt=4cm	—	
25号水兼農道	4.5	111.5	アスコンt=4cm	—	
27号水兼農道	4.5	108.5	アスコンt=4cm	—	
28号水兼農道	4.5	99.5	アスコンt=4cm	—	
29号水兼農道	4.5	100.0	アスコンt=4cm	市道城辺155号線に接続	
36号水兼農道	4.5	44.7	アスコンt=4cm	市道城辺6号線に接続	
37号水兼農道	4.5	88.0	アスコンt=4cm	—	
1号農道	5.0	48.0	流しコーラルt=15cm	—	
30号農道	3.0	93.0	流しコーラルt=15cm	県道199線に接続	
31号農道	3.0	102.0	流しコーラルt=15cm	—	
32号農道	3.0	107.0	流しコーラルt=15cm	—	
33号農道	3.0	100.5	流しコーラルt=15cm	—	
34号農道	3.0	116.5	流しコーラルt=15cm	市道城辺155号線に接続	
1号耕作道	3.0	45.0	流しコーラルt=15cm	—	
2号耕作道	3.0	57.0	流しコーラルt=15cm	—	
3号耕作道	3.0	41.5	流しコーラルt=15cm	—	
合計		4140.7			

(2) 道路主要構造物

(第19表－2)

項目 路線名	名 称	規模構造	延 長 (m)	箇所数 (箇所)	備 考

2. 索道 **該当なし**

(第19表－3)

項目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原動機		備 考
				形 式	動 力 ()	

第4節 農用地造成 該当なし

1. 農用地造成 該当なし

(1) 抜根

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

(2) 除礫

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工法	備考
区分	造成工法			
地目				
計				

(4) 地目交換

(第20表－4)

項目 区分	面積 (ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末端用水路等

(第20表－5)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路等

(第20表－6)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

2. 土壤改良 該当なし

(第20表－7)

項目 区分	面 積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第5節 洪水調整施設 **該当なし**

1. 貯水池 **該当なし**

2. 頭首工及び導水路 **該当なし**

(1) 頭首工

(2-1)

(第21表-2)

名 称			位 置		
			堤 長 (m)		
形 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	固定部	可動部	計

(2-2)

(第21表-2)

名 称			備考
	計画洪水位 (m)	付帯施設	
形 式			

(2) 導水路

(2-1)

(第21表-3)

項 目	通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)		
		トンネル	その他	計
水路名				

(2-2)

(第21表-3)

項 目	構 造	勾 配	備 考
水路名			

第6節 干拓施設

該当なし

1. 堤防 該当なし

(2-1)

(第22表-1)

項目 名 称	型 式	延 長 (m)	構 造		
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装

(2-2)

(第22表-1)

項目 名 称	構 造		原地盤標高(m)		備 考
	上流斜面	下流斜面	平 均	最 低	

2. 潮止め 該当なし

(2-1)

(第22表-2)

項目 名 称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)

(2-2)

(第22表-2)

項目 名 称	最大流速 (m)	床固め構造	備 考

3. 付属施設 該当なし

4. 埋立 該当なし

(第22表-3)

項目 区 分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立標高 (m ³)	施工方法	構 造

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
福嶺	23.7	200 × 100	142,200	23.7	142,200	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考
2号浸透池	1基	534m ³	石積み側壁	
3号浸透池	1基	507m ³	石積み側壁	
4号浸透池	1基	1,124m ³	石積み側壁	
5号浸透池	1基	1,602m ³	石積み側壁	
6号浸透池	1基	1,026m ³	石積み側壁	
7号浸透池	1基	589m ³	石積み側壁	
8号浸透池	1基	1,299m ³	石積み側壁	
9号浸透池	1基	1,619m ³	石積み側壁	
10号浸透池	1基	1,802m ³	石積み側壁	
計	9基	10,102m ³		

2. 暗渠排水 該当なし

(1) 暗渠排水

(3-1)

(第23表-4-1)

区 分	面 積 (ha)			集 水 渠			
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)
			計				
計							

(3-2)

(第23表-4-1)

区 分	排 水 渠						名称
	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	
計							

(3-3)

(第23表-4-1)

区 分	集水渠出口以下の 排水施設		備 考
	構造	数量 (m/ha)	
計			

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

区 分	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備考
計					

3. 客土 該当なし

(2-1)

(第23表-5)

区 分	項 目	面 積 (ha)		客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)
		事 業 名				
			計			
計						

(2-2)

(第23表-5)

区 分	項 目	運搬方法	備 考
計			

4. 除礫 該当なし

(第23表-6)

区 分	項 目	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

5. 農地保全 該当なし

(1) 防災林

(2-1)

(第23表-7)

区 分	項 目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種
計					

(2-2)

(第23表-7)

区 分	項 目	植栽本数 (本)	備 考
計			

(2) 排水路

(第23表－8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
計				

(3) 浸食防止工

(第23表－9)

項目 名称	構造	数量	備考
計			

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

1. 貯水池

該当なし

(第24表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (km^2)	堤高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m^3/s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (km^3)	備 考
洪水吐	形式	洪水量 (m^3/s)	規模 (m)	備 考	取水施設	形式	取水量 (m^3/s)	備 考

2. 堤体補強施設

該当なし

(1) のり面保護施設

(2) 漏水防止工

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和	8	年度
完了	令和	14	年度

第8章 環境と調和への配慮

1. 事業計画における配慮

事業計画の策定に当たっては、宮古島市農村環境計画を考慮した調査を実施し、環境への配慮に努めた計画とする。

2. 工事実施における配慮

工事実施においては、事業計画で定めた配慮事項を確実に実施することを念頭に、大気質・騒音・振動等の環境要素も含め、環境負荷を最小限に抑えるための工法を検討し、地区外への影響が出ないよう留意して施行を行う。

3. 赤土等流出防止への配慮

工事実施においては、浸透池等の赤土流出防止施設を先行して設置することにより、地区外への赤土の流出を防止する等、「赤土等流出防止条例」に基づいた各種赤土流出防止対策を重点的に行う。また、工事完了から農家に利用される間の裸地対策として、クロタリヤ等による速やかな畑面植生を施すとともに、畑の際にグリーンベルトを植栽し、農地からの赤土流出防止に努める。

4. 貴重な動植物、文化財及び景観等への配慮

①植物の保全対策

当該地区は現況が一部原野を除き、ほとんどが農地である。文献等においては当該地域で貴重な植物は確認されていないことから、事業実施による影響はほとんどないと考えられる。

②動物の保全対策

宮古島市では貴重種の生息が数種確認されており、当該地区においても貴重種が生息している可能性はあるものと思われる。工事実施に伴い貴重種が確認された場合は、すみやかに近隣に移動する等の対策を講じることとする。また動物の保護対策として、計画地区を5カ年で整備完了するように造成区域を分割して、当該造成区域内に生息する動物の周囲への避難・回避を促す整備を図る。このように、事業実施にあたっては、生息状況を見ながら環境に配慮する事項について弾力的な対応を行うこととする。

5. 文化財への配慮

当該地区には井戸(文化財未指定)が見られる。

教育委員会には協議済みであり、本事業においても除外している。

6. 景観への配慮

当該地区は、地区内及び近隣に名勝等は認められない。

7. その他の配慮

計画地周辺には集落が隣接しているので、工事に伴う騒音・振動や粉塵等が影響しないよう配慮する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

換地計画の樹立に当たっては、特に農用地の集団化その他農業構造の改善及び土地利用の合理化が図られるように、換地設計基準を定め、換地計画書を作成する。

第2節 換地区の設定 **該当なし**

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

2. 換地区を設定する理由

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
福嶺地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 ただし、上記の日から6ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(4-1)

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地							
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に含める 土地(令第1条の9()書き)			計
						土地改良 施設	その他	小計	
福嶺	従前の 土地	-	26.1	0.6	0.0	-	-	-	26.7
	換地	-	23.7	-	-	-	-	-	23.7
合 計	従前の 土地	-	26.1	0.6	0.0	-	-	-	26.7
	換地	-	23.7	-	-	-	-	-	23.7

(4-2)

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地					非農用地区域に換地する土地		
		本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地		
		改良区	その他	計			宅地	その他	計
福嶺	従前の土地	-	-	-	-	26.7			
	換地	-	1.9	1.9	-	25.6			
合計	従前の土地	-	-	-	-	26.7			
	換地	-	1.9	1.9	-	25.6			

(4-3)

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域に換地する土地						
		異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計
			農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等	計	
福嶺	従前の 土地	-						-
	換地	-	-	-	-	-	-	-
合 計	従前の 土地	-						
	換地	-	-	-	-	-	-	-

(4-4)

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	機能交換に係る土地				一般 国公有地	総合計
		国	県	市町村 他	合計		
福嶺	従前の 土地	-	-	0.6	0.6	-	27.3
	換地	-	-	1.7	1.7	-	27.3
合 計	従前の 土地	-	-	0.6	0.6	-	27.3
	換地	-	-	1.7	1.7	-	27.3

3. 農用地集団化の方針

(第25表－4)

区 分 換地地区	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画の分割
福嶺	該当なし	各人の従前の土地がもつとも密集した位置を中心として、概ねその付近に定める。	2団地以内	1. 区画の設定は原則として長辺に沿って設定する。短辺部が農地利用に支障がないよう留意する。 2. 設定後は道路に沿うよう配慮する。

4. 非農用地換地の方法 該当なし

(2-1)

(第25表－5)

区 分 換地地区	用途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (m2)	換地の手法

(2-2)

(第25表－5)

区 分 換地地区	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 標準地よりの減点方式

2. 清算の方法 比例地積清算方式

第5節 換地計画書樹立の年度計画

(第25表－6)

区 分 換地地区	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備 考
福嶺	令和9年度～ 令和14年度	令和14年度	令和14年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項により準用する第54条第2項のただし書きにより換地を行うことができる。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名 区分		区画整理 (百万円)	備考
主要工事		1,151	令和7年度単価
附帯工事		—	
計		1,151	
関連事業 (参考)	国営	336	国営かんがい排水事業宮古伊良部地区 など
	都道府県営	586	畑かん 福嶺地区
	団体営	—	

第 1 1 章 効 用

(第27表)

事業名	効 果 区 分		年総効果(便益) 額 (千円)	年増加農業所 得額 (千円)	備 考
区 画 整 理	食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	26,852	37,569	
		品質向上効果	4,190	4,190	
		営農経費節減効果	27,170	26,069	
		維持管理費節減効果	△ 1,831	△ 1,065	
		営農に係る走行経費節減効果	-	-	
		国産農産物安定供給効果	6,623	-	
	農業の持続的発展に関する効果	耕作放棄防止効果	-	-	
		災害防止効果(農業)	-	-	
		農業労働環境改善効果	-	-	
	農村の振興に関する効果	災害防止効果(一般資産)	-	-	
		地域用水効果	-	-	
		一般交通等経費節減効果	-	-	
		地籍確定効果	-	-	
		国土造成効果	-	-	
		非農用地等創設効果	-	-	
	多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果(公共施設)	-	-	
		水源かん養効果	-	-	
		景観・環境保全効果	63,497	-	
		都市・農村交流促進効果	-	-	
	合計		126,501	66,763	

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	③=①+②	1,957,517 千円	
当該事業による費用	①	959,543 千円	
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	997,974 千円	
年償還額	④	1,426 千円/年	
うち機能向上分	④'	1,426 千円/年	
年総効果(便益費) 額	⑤	126,501 千円	
現況年総農業所得額	⑥	7,134 千円	
年増加農業所得額	⑦	66,763 千円	
評価期間(当該事業の工事期間+40年)		47 年	
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	2,182,643 千円	
総費用総便益比	⑨=⑧/③	1.11	
総所得償還率	⑩=④/⑥×100	19.99 %	
増加所得償還率	⑪=④'/⑦×100	2.10 %	

第 1 2 章 関連する事業

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	事 業 内 容
異 種	国営かんがい排水事業(宮古)	国	7,805	水源整備
	公団営農用地等緊急保全整備事業	公団	7,805	水源整備
	皆福地下ダム	国	7,805	水源整備
	国営かんがい排水事業(宮古伊良部)	国	9,156	水源整備
	水利施設等保全高度化事業 (福嶺地区)	県	23.7	末端畑地かんがい施設

第 1 3 章 現況・計画平面図

1. 現況平面図 {別紙 現況土地利用図}
2. 計画平面図 {別紙 計画平面図}
3. 主要構造図 {別紙 主要構造図}